

掘師会 2023 年初秋会報

(日本における地下掘削の技術向上並びに継承するために設立された会)

一般社団法人掘師会

東京都練馬区大泉学園町

理事長 内山 剛

1. 理事長挨拶



2020 年コロナ禍、志を持った皆様と一般社団法人掘師会を立ち上げることができました。この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。

2023 年いよいよ勉強会回数を増やせる段階になってきました。会員の皆様とともに、ボーリング技術のスキルアップを図っていきます。

引き続き皆様の御協力をお願い申し上げます。

内山 剛

2. ボーリングスキルアップ講習会の実施状況

開催日	2023 年 10 月 7 日 (両日とも 9:15~17:00)	場所	ウチャマ地質工業本社 (東京都練馬区)	参加者	会員等 15 名他 ベトナム語通訳
講師	有限会社ウチャマ地質工業 代表取締役社長 内山 剛				
内容	<p>1. 目的 ボーリングスキルの向上のための講習 (ボーリングマシンの搬入・設置・使用)。</p> <p>2. 講習風景 ボーリングマシンを使った実技講習。</p>				



2023 年 10 月 7 日
ウチャマ地質工業敷地内にて撮影

3. 直近のスキルアップ勉強会の実施状況及び直近の予定

期日 (2023 年)	勉強会の内容
6 月 4 日 (日)	技術士二次試験対策勉強会 (実施済み)
6 月 18 日 (日)	技術士二次試験対策勉強会 (実施済み)
6 月 25 日 (日)	技術士二次試験対策勉強会 (実施済み)
7 月 1 日 (土) / 2 日 (日)	技術士二次試験対策勉強会合宿 (実施済み)
7 月 22 日 (土) / 23 日 (日)	ボーリングスキル向上のための講習会 (実施済み)
10 月 7 日 (日)	ボーリングスキル向上のための講習会 (実施済み) ボーリングマシンを使った実技講習

4. トピックス (提言)

ボーリング調査の育成期間の短縮化の意義

ここでは、ボーリングマシンを使った調査実務者の育成期間短縮化について取りあげたい。

1. 育成状況

ボーリング調査業において、「ボーリングマシンを使った調査実務修得までに数年かかる」という声を聴くことは少なくない。一方で、2023 年 10 月 7 日掘師会「ボーリングスキル向上のための講習会」では、入社 3 ヶ月未満のスタッフがボーリングマシンを操作して掘削していた。①効率的なボーリング調査業務経験と②掘師会等の各種講習会※1を組み合わせることで、約 3 ヶ月程度でボーリングマシンを操作できるスタッフを育成可能とした成功事例と言える。

2. 育成期間短縮化の要因

ボーリングマシンを使った調査業は属人的な技術に頼り、定型化が難しいと考えられてきた。ボーリング調査実務者の育成期間短縮化の要因の一つは、現場での作業動作を細かく見直し、あるべき姿を作りあげ、作業動作の定型化を図ったことであろう。

3. ボーリング調査の自動化への期待

ヒトの作業動作の定型化が図られたことは何を意味するか。それは、ボーリング調査の自動化に向けた布石と言えるのではないだろうか。定型化が図られたということは、定型動作の中で自動化可能なところから自動化すれば、更なるボーリングマシンを使った現場作業の効率化が期待できよう。一つ一つの定型動作の自動化を積み上げていけば、最終的にはボーリング調査を自動化できるだろう。

※1:掘師会だけではなく、ボーリングマシンに関する講習、事業者主催の特別教育や安全大会を通したノウハウ習得も含む。

執筆：2023 年 11 月 30 日 小島康 (中小企業診断士)

編集：掘師会事務局 (合同会社ココジマ)